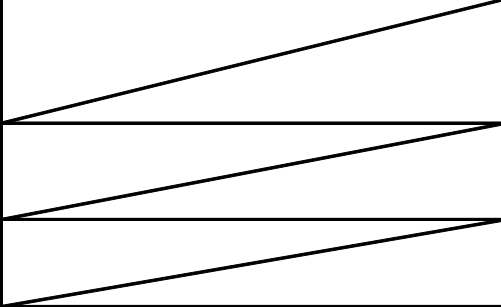


児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： R5年 11月 10日

事業所名：児童デイハバナケア今福

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動内容や利用児童の状況に応じて、必要なスペースを確保しています。	10名中(・はい9名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	2	職員の適切な配置	児童発達支援管理責任者の他に介護福祉士が1名、保育士が1名、児童指導員が1名常勤しています。必要に応じて、児童指導員や児童指導員等を増員しています。	10名中(・はい7名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない2名)	引き続き継続します。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	その日の流れをホワイトボードに掲示して説明をしています。退所時の送迎配置を名札で掲示し、視覚的に分かりやすくしています。相談室を設け、状況に応じて活用しています。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続し、利用児童の状況に配慮した対応を心掛けていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は毎日欠かさず行っています。活動内容に応じたスペースの確保、利用児童の状況に応じて相談室の確保をしています。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続し、利用児童が清潔で心地よい空間で過ごせるよう配慮した対応を心掛けていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のサービス提供前に、前日の振り返りや当日の支援について、支援者間で共通理解を行っています。		今後も事業所内会議を月に一度、定期的に行っていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	自己評価や法人の評価は行っていますが、外部評価は行っていません。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修に参加した職員が、研修の内容を報告し、情報の共有をすることで共通理解が出来るようにしています。		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時や必要に応じて、アセスメントやモニタリングを行っており、本人や保護者のニーズや課題、または相談支援専門員からの情報共有等により、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	10名中(・はい9名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	本人の状況に応じて、放課後等デイサービス計画書を作成しています。	10名中(・はい9名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	放課後等デイサービス計画書には、支援に必要な支援内容を明記しています。		引き続き職員間で情報の共有をし、児童発達支援管理責任者が作成します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画書に沿った支援を実施していますが、内容に基づいた支援が困難な場合には、担当者会議等の内容に応じて、計画の見直しを行います。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	直接支援をする職員が、日々の児童との関わりの中で、プログラムの立案をしています。		引き続き継続します。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇時は、サービス提供時間が長いので、午前中に公園へ行くなどのプログラムを実施しています。通常授業時と比べてサービス提供時間が長いので充実したサービスの提供が行えるよう職員一同努めています。		引き続き継続します。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	学習など固定化されているプログラムもありますが、安全面に配慮した上で、児童が主体となって活動出来るような環境を整えています。	10名中(・はい7名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない2名)	引き続き継続します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々のサービス提供前に、職員間で役割分担など共通理解を行っていますが、可能な限り全体の把握に努め、チームで支援が出来るようにしています。		引き続き継続します。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、または翌日に振り返りを行い、注意点や良かったこと等を話し合い、支援に関わる全員に情報の共有をしています。		引き続き継続します。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用時の様子や連絡事項などを複写のノートに記入し、記録しています。		引き続き継続します。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングや個別面談を行い、放課後等デイサービス計画書の見直しを行っています。		引き続き継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者や介護福祉士、保育士、児童指導員が参加しています。		引き続き継続します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて行っています。		引き続き継続します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	特別支援学校などは、卒業後の進路に関して問い合わせがあった時には、情報提供を行っています。		引き続き継続します。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて対応する体制です。		引き続き継続します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状交流は行っていません。	10名中(・はい1名・どちらともいえない1名・いいえ3名・わからない5名)	今後も交流を行う予定はありません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状交流は行っていません。		今後も交流を行う予定はありません。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に受給者証に記載されてあるように利用者負担額についての説明をしています。また、負担額が変更になった場合は必要に応じて説明をしています。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながらの説明は常時は行えていませんが、質問や問い合わせには常時対応し、丁寧に説明をしています。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは行っていませんが、保護者からの希望や相談があった場合は支援しています。	10名中(・はい2名・どちらともいえない2名・いいえ3名・わからない3名)	引き続き継続します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時などで保護者に日々の様子や支援内容を報告しています。また、必要に応じて電話での連絡を行い、共通理解が出来るように努めています。	10名中(・はい9名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談や助言は、保護者の希望に応じて行っています。	10名中(・はい7名・どちらともいえない2名・いいえ1名・わからない0名)	引き続き継続します。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会はありません。保護者からの希望もありません。	10名中(・はい1名・どちらともいえない1名・いいえ4名・わからない4名)	今後も行う予定はありません。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合は誠意をもって対応しています。保護者が可能な限り納得していただけるように説明をしています。	10名中(・はい8名・どちらともいえない1名・いいえ1名・わからない0名)	引き続き継続し、利用児童の体臭等に関する苦情などは、相談支援専門員と連携を取り、今後の対策を一緒に考えています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者からの助言を参考にさせて頂き、職員全体で話し合って実践しています。	10名中(・はい10名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない0名)	引き続き継続します。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ホームページにて通常授業時や長期休暇時の流れについて掲載しています。定期的な会報の発行は現在はありません。	10名中(・はい4名・どちらともいえない2名・いいえ2名・わからない2名)	避難訓練等の実施はその都度お知らせしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いに関しては、全従業員が十分に配慮して対応しています。また、情報の保管場所は扉付きのロッカーを使用しています。	10名中(・はい9名・どちらともいえない0名・いいえ0名・わからない1名)	引き続き継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、十分に説明・周知することは困難でした。	10名中(・はい7名・どちらともいえない1名・いいえ0名・わからない2名)	今後資料配布での周知を予定しています。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震と火災を想定した避難訓練を半年に一度実施しました。訓練の際は、利用児童に訓練の内容を説明してから行っています。訓練での様子は連絡ノートへ記載、または送迎時に説明しています。	10名中(・はい5名・どちらともいえない2名・いいえ0名・わからない3名)	今後も半年に一度の実施を目標としています。	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待に関する実態の把握は職員同士で周知・共通理解をしています。虐待が疑われる場合は、関係機関と連携を取り、適切な対応をします。			引き続き継続します。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	児童が不安定になり、他児童や周りが危険であると判断した場合は、安全確保のためにやむを得ず身体拘束をすることを個別支援計画書に明記し、説明をしています。また、身体拘束の実施があった場合は保護者にその時の児童の様子や状況の説明をしています。			引き続き継続します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関して医師の指示書に基づく対応の事例はありません。保護者からの情報提供により対応しています。必要に応じて対応しています。			引き続き継続します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの報告書は作成しています。日々の支援に関する話し合いや、月に一度の職員会議で情報の共有をし、再発の防止に努めています。			引き続き継続します。